

平成27年5月22日

# 風は東から

To be continued...

IHは東大和南高校に大敗…  
現実(結果)を受け止めリスタート!!

**インターハイは東大和南に大敗… これが東高の実力!!**

**この現実を真摯に受け止め選手権に向けリスタート!!**

インターハイ予選二回戦(4/29)は、強豪東大和南高校(T3)にこの冬の厳しいTR成果を出すべく全力で挑みましたが、結果はご存じの通り1-7の大敗でした。あの**悪夢**(…?)の敗戦から間もなく一か月近くが経とうとしています。

インターハイ後のGW中は、敗戦のダメージと挫折感を引きずったまま、選手権に向けてリスタートしましたが、当然の如く切り替えが上手くできずに、大切な地区トップリーグやTRMまでも負け続けました。子どもたちはすっかり自信を無くし、チームも迷走しどん底状態に陥り、ここから這い上がって立ち直るにはかなり時間が掛かると、スタッフ一同もさすがに危機感に襲われました。しかし、GW最終日に行われたTRM駒大高戦の勝利で、子どもたちは吹っ切れたというか何かを掴んだというか、夏の選手権に向けて一筋の希望、第一歩を大きく踏み出しました。

**「人は、困難に直面したときほど、歩みを止めては行けない！」**

つまり、今回のインターハイの結果から、「負けを受け止めて、足りない何かを学ぶ」謙虚な姿勢が大切であると改めて感じました。翌週に行われた創価高校とのTRMでは、**東高サッカー復活!!**の兆しを感じるゲームで完勝しました。

今回新たに突き付けられたこの結果(現実)に子どもたち、チーム、スタッフ、がどのように向き合っていくか…?全ては選手権に向けて、そして東高サッカー部の未来に向けて。



## 「勝ちに不思議な勝ちあり、負けに不思議な負けなし！」

昨年行われた新人戦での大成戦敗退後、その反省を活かし、12月から4月のインターハイ予選まで五か月間に亘り、東高サッカー部としては、今まで体験したことがない冬場特有の厳しいTRで追い込み、毎週末は多くのTRMを行ってきました。三月には土浦市長杯、土浦フェスティバルにも参戦し、実践を通して経験値を積み上げ「自信」を得ることができました。特に三年生は、この半年間で意識と取り組み姿勢も大きく変わり、東高サッカー部も「真の高校サッカー」へ一歩アプローチできたように感じました。しかし、結果は…。

偶然で、ラッキーな「勝利」は確率が少ないものの存在しますが、そう何度も続くものではありません。それは、「勝利」という結果だけに終始してしまい、大切なことに気付いていないからです。しかし、「負け」に関しては、必ずその理由は存在します。その結果に謙虚にそして真摯に向き合うことができれば、人はもっと大切な「負けから学ぶこと」に気付くチャンスが必ず訪れます。

東高サッカー部は、冬の厳しいTRや毎週末のTRMを行ってきたことで、どこか満足してしまっていたのかもしれませんが、TRMで勝ち続けたことで「自信」ではなく「過信」にいつの間にか変化していたのかもしれませんが、また、サッカー以外の日常生活の中で、自分のやるべきことに妥協してしまい、甘い部分やぬるい習慣が、公式戦という一番大切な「本番の舞台」で力を発揮できなかったのかもしれませんが。

人は一生懸命生きれば生きるほど、多くの失敗、挫折を体験するものです（たまには、上手くいくこともあります）。ここで、諦めるのか？一歩前へ進めるのか？人としての真価が問われるところです。世の中で成功を収めている先人たちは、この失敗経験を通して多くのことを学び、それを自分のものとして身に付けています。子どもたちにも「負けから学ぶ」ことで、目標に向かって足りないものを掴むために、更に上を目指し、一層努力をしていかなければなりません。つまり日々この当たり前のことを継続して道を切り拓いていくしかないのです。言葉で語ることは簡単ですが、行動に起こすことが一番難しいことは百も承知！でも、好きなサッカーのためなら子どもたちもやれるはず！私たち大人もそっと背中を押せるようサポートしたいものです。

### <After the Game>

三年生にとっては、高校生活最後の公式戦である選手権予選（8月中旬～）を残すのみとなりました（残念ながら四名が選手権前に退部しました）。今後は進路活動と部活動を両立しながら一日一日を今まで以上に大切に生活して欲しいものです。そのためには、いつも話していますが、人が平等に与えられた一日24時間をどのようにデザインして生活していくのか？が問われます。進路を控えたこの時期に、「覚悟」を決めて好きなサッカーを最後までやり切り、打ち込むのであるから、犠牲にするものや我慢をすること、無駄をなくす生活がより一層求められます。そして、甘えの許されない厳しい生活こそが、「少年」を「大人」に成長させる大きな試練であり、子どもたちの成長に繋がるターニングポイントになると思っています。ここで培われた「自信」は全てに通じます。

#### 受験は一瞬、高校サッカーで得るものは一生！！

最後まで苦楽を共にし、闘った仲間は、一生付き合える友だちになります。男の子はこういう経験を通して少しずつですが、色々なことを理解して大人になっていくのです。

やらずに後悔するのではなく、敢えて厳しい環境に挑戦して失敗して多くのことを学びそれを成長に繋げていくことが、混沌とした今の世の中を逞しく生き抜く原動力になると信じています。